

議会報告会（安平地区）における梅森議員の発言について

議会報告会・令和5年12/4(月)

吉岡（質問）：議会には予算委員会、決算委員会、その他の委員会議がある。その中で、決算委員会というのは、1年間の総括で、特に大事だと思うが、議員によって、発言に大きな差がある。4年間。1度も質問しない人もいる。議員1人1人に、決算委員会をどのように認識しているか聞きたい。

梅森議員（発言）：

①確かに議会の中で決算委員会、予算委員会のその場で発言すると、非常に一生懸命頑張っているんだと伝わってくる。

②（私は）、決して否定するわけじゃありません。だけど、私個人的な考え方かも知れませんが、**③**決算については、私はその都度、その都度、予算計上されて認められて、4月から積んで行くわけで、そういう流れの中で、「私はどちらかというところ、はっきりものを言うタイプなので」、その都度その都度、行政の、役場の人に対しては意見を言っているつもりです。もしくは、確認をしているつもりです。そういうのが重要で、その場その場でやる活動というのが、議員の中で大変大事なことで、決して、**④**「決算委員会で発言していないから、その議員は一生懸命やってないんだ」という短絡的な表現は、間違っていると思っています。（質問することは）確かに大事なことで、否定はしないけれども、**⑤**一般質問をしないからと言って、この議員何もしないのかということではなくて、地元のために一生懸命頑張っている方もいます。その言っていることを捉えて、**⑥**回数が多い少ないと言うのは、議員の方の活動実績についてよく理解していない方の言うことかなと私は思っている。

⑦私はそのように普段から、その都度その都度、疑問な点、確認する点は、自分なりに解決しているつもりなので、議員活動としては、私は、一生懸命やっているつもりでいる。それを評価されるのは、一般住民の方々なので、最終的には、選挙の結果として現れて来ると基本的には私はそう考えている。**⑧**一時（いつか）の、表現は悪いかも知れないけれど、パフォーマンスでそういうことで、一生懸命、画面に出ているから一生懸命やっています。決して否定しないですよ。一生懸命やっているのわかっているから。**⑨**発言しない人は、一生懸命やっていないと言う短絡的な考えは違うんじゃないかな。私は私なりに、議員活動はやっているし、他のいわゆる発言の少ない方も、一生懸命やっている方もいらっしゃいますので、その辺は皆さんに理解していただきたいと考えています。

「聞き捨て出来ない」梅森議員の発言。

1, 梅森議員は、「根本的な思い違いをしていませんか？」

- ① 「確かに議会の中で**決算委員会、予算委員会**の**その場で**発言すると、非常に一生懸命頑張っているんだと伝わってくる。
- ② 決して否定するわけじゃありません。
- ③ 一時（いつとき）の、表現は悪いかも知れないけれど、パフォーマンスでそういうことで、一生懸命、画面に出ているから一生懸命やっていて・・・決して否定しないですよ。

(1) 指摘。

① 「その場で発言する」のは、当たり前じゃありませんか？

② 「決して否定するわけじゃありません。」と言うのは、「その場で発言する」事を「否定しない」と言ったのですか？
わかりにくいですね。

(質問1) 決算委員会、予算委員会に限らず、所定の目的を持った会議の出席者が、**その会議の場**で質問したり、意見を言うのは、当たり前じゃないですか。どうして、「一時のパフォーマンス」だというのですか？

(質問2) もし、「**その場で**発言しないとすれば、どこで発言しろ」と、言うのですか？

(質問3) もし、梅森議員が言うように、出席者が「**その場**」で誰も発言しなかったら、会議は成り立ちません。
「会議は形式だけだ」との理解なのですか？
発言はなく、賛成だけすればいいということですか？

(質問4) 「決して否定するわけじゃありません。」とはどういう意味ですか？
梅森議員の批判に対する「反論」を予想した一種の弥縫策ですか？

※ 「決して否定しない」と言いながら何度も否定する梅森流(?)が理解できません。「個人発言」に対する攻撃的悪感情」に注目です。

2、梅森議員の発言は、「議会を知らない人」にだけしか通用しない「いい加減な話」です！

たとえば・・・

③**決算**については、私はその都度、その都度、予算計上されて認められて、4月から積んで行くわけで、、そういう流れの中で、・・・、

この梅森発言は、「決算委員会の審議」と補正予算関連のケースと明らかな混乱があります。

「梅森議員は、自分が話していることの間違いに全く気づかずに、得々として「議員のあり方」まで説いていることに驚かされます。

(1) **改めて確認したい。**

(質問5) 「決算については」の③のあとの説明は、「補正予算」のことではあり、「決算」についての説明になっておりませんね。

①梅森議員が言った「その都度、その都度、予算計上されて認められて、4月から積んで行くわけで」とある予算とは、決算委員会の事ではなく「**補正予算**」のことになりませんか？

この件に対して、梅森議員は、さらに続けてこう言ってます。

「その都度その都度、行政の、役場の人に対しては意見を言っている。もしくは、確認をしているつもりです。そういうのが重要で、その場その場でやる活動というのが、議員の中で大変大事なことで・・・」

と述べていますが、「決算審議」は、その内容において全く異なっています。確認の為、「補正予算」の審査と「決算委員会」の審議に立ち返ってみます。

②**補正予算**は、3月の予算委員会で決定された1年間の「一般会計予算」「事業会計」の修正に当たる個別の予算の増額または減額の予算で6月、9月、12月の定例会の他に、不定期の臨時議会で提案されます。その他、専権事項による予算支出もあります。

梅森議員は、この補正予算に関して、「その都度、その都度、役場の人に意見を言っている。それが議員として大変大事だ」と発言しています。

しかし、この人(梅森議員)は、大きな勘違いをしていますね。

梅森議員が、自慢かたがた強調したのは、おそらく「補正予算」に関する
ことで、決算委員会とは、別の話でした。

③「**決算委員会**」で扱う決算は、年間の一般会計予算、その他事業会計に、
補正予算を含めた1年間の収入と支出が適切であったかを審議するためのも
のです。残した予算の是非をも審議するのです。

新人議員でも気がつくのは、①不納欠損額 ②収入未済額 ③不用額に対
する「なぜ」です。それに流用・充用の問題です。次々「なぜ」が生じます。
税金が、どのように使われているか、チェックしようと真面目に向き合えば、
質問が一つも出てこないなどは、あり得ないことです。

こうしたことを総括的に調べて、質問し改善点を明らかにして、次年度の
予算に反映させていくという作業が、決算委員会の目的です。

なお、名称について、お断りしておきます。

- 「予算委員会」の正式名称は、「予算審査特別委員会」
- 「決算委員会」の正式名称は、「決算審査特別委員会」
と、言います。

3、「**発言の少ない議員**」に対する梅森議員の「**弁護・弁解**」
は、「**発言しなくとも良い。これでいいんだ**」とする風潮
を作ることにならないか。

④「**決算委員会で発言していないから、その議員は一生懸命やってな
いんだ**」と言う短絡的な表現は、間違っていると思っている。

⑤**一般質問をしないからと言って、この議員何もしないのか**というこ
とではなくて、**地元のために一生懸命頑張っている方もいます。その
言っていることを捉えて、⑥回数が多い少ないと言うのは、議員の方
の活動実績についてよく理解していない方の言うこと**なのかな。

梅森議員は、「**議会で発言しなくとも、議会外で地元(?)の為に頑張
っている**」から、**それでいいんだとも聞こえる「言い訳」にも似た発言**をし
ています。**しかし、議会外で、町民の問題解決に動くことと「議会で発
言すること」とは、別な話**です。

実際に、「**議会外**」で、町民の要求に応えながら、同時に議会で積極的
に発言をしている議員も少なからずおります。

※ところで、議員が発言する「場」って、どこかの確認？

《町民に代わって、**議員しか発言出来ない場所**》

本会議、臨時議会、予算委員会、決算委員会、全員協議会、
その他、各委員会等々の会議

梅森議員の「弁護・弁解」は

「議員本来の義務」を軽視し、議会の機能低下を導くもの。

それぞれの「テーマ」があり、理事者側から提案があり、予算を含め審議します。一般質問が行われるのは、本会議だけです。

議員の発言の機会は、議会の全てにあります。いわゆる「発言しない議員」は、私の知る限りでは、「発言機会が与えられた全ての会議」で、ほとんど発言しないのです。中には「異議なし」「議事進行」しか発言出来ない議員もおります。

4、**議員の本来の任務は、まず、議会で「発言」することです。**

そもそも、「議会は、言論の府」です。

議員は言論の府を支える柱です。

議会は町長＝執行機関による自治体の運営を住民目線でチェックする「行政監視」の役割を担うことです。

大事な議会の各会議で、町民に代わって発言すべき議員の中には、ほとんど発言しない議員がいることは、一つの大きな問題です。

「議員の権限」の中に、「発言権」とありますが、この発言こそ「議員活動の中心となるもの」（議員必携）と定められています。

「**議員にしか出来ない活動**」の一つが、**議会における発言**です。

発言しなくとも、「地元のために一生懸命頑張っている」から、「発言しなくともいいんだ」と言わんばかりの梅森議員の発言は、議会活動の衰退をもたらすものです。

(追加)

③・・・「私はどちらかという、はっきりものを言うタイプなので」

との自己評価については、コメントしませんが、評価する観点、

- ①どんな時に、はっきりものを言っているのか。
 - ②誰に対して、はっきりものを言っているのか。
 - ③誰の利益のために、はっきりものを言っているのか。
- とすることが重要です。

この観点から言えば、梅森議員が「はっきりものを言っている」との認識は私にはありません。

(「質問1から質問5」に対する「梅森議員からの回答」を求める)

(1) 未回答の件

新しい議会になってから、議員の質問、発言を「電話で聞けばいいことを質問する」などと不必要な難癖をつることがありました。「議会運営委員会が指導する」などとして、議会ごとに反省会をするなどのことが起こりましたが、この件について、議会運営委員会に対し、質問書を出しましたが、本来は責任者が回答するべきなのに、結局は、回答者の押し付け合いをして、未だに回答を頂けていない状態のままです。

(2) 今回の件での回答について

今回の私の梅森議員に対する質問は、議会報告会で、町民(私)がした質問に対する会場での答弁(回答)が、甚だ不適切であったことから、質問者である私本人が、改めて質問を行ったものです。

が、しかし、まずは、本人の自覚と誠実さによるものですが、過去の梅森議員との体験によれば、おそらく、回答しない事は十分予想されますが、私としては、「回答不能扱い」に致し、改めて回答を求めることは致しません。念の為申し上げておきます。

早来地区住民
吉岡 政昭